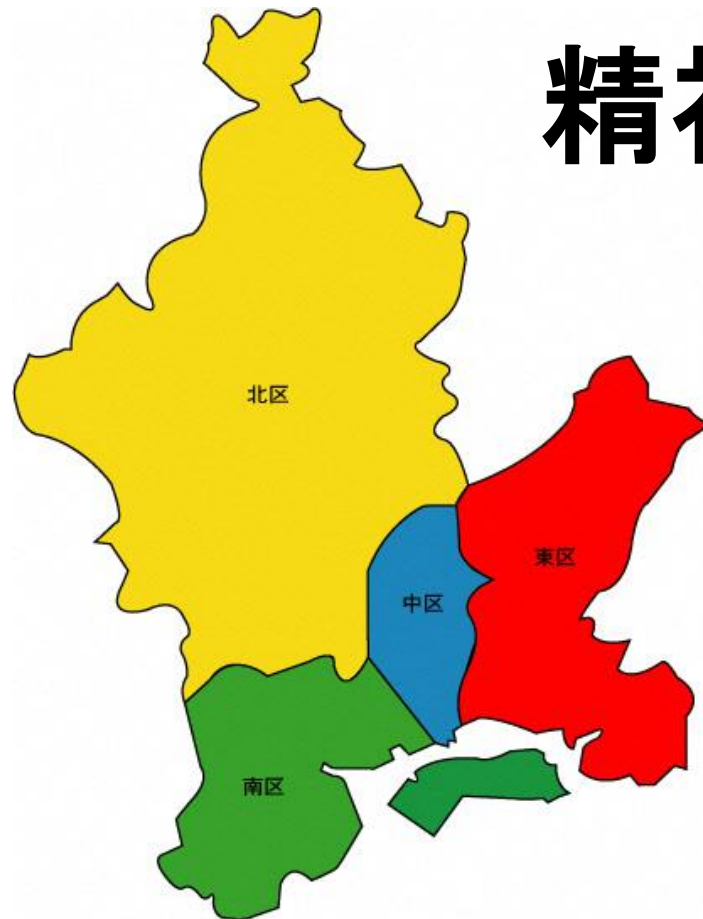


令和3年度

岡山市障害者自立支援協議会

精神保健福祉部会 活動報告



支援センター・コンドル
前田 茂男

R4.6.10(金)

岡山市障害者自立支援協議会 全大会

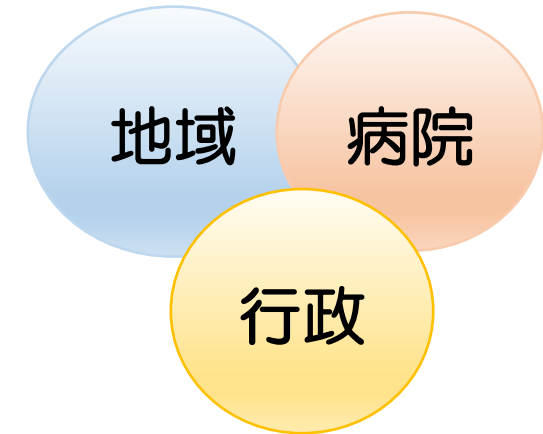
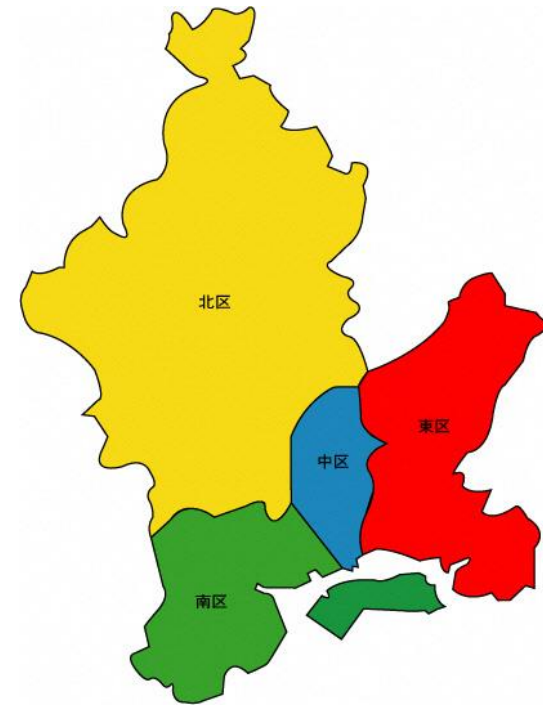
精神保健福祉部会の活動

◆参加メンバー 8名

相談支援専門員(各地域部会)
精神科病院 PSW
岡山市保健所
岡山大学保健管理センター医師

3名
1名
3名
1名

◆開催：月1回 合計12回



取り組みの全体像

関係する専門
部会等に報告

精神保健福祉
審議会に報告

課題解決の
取り組み

資源開発
研修会

必要に応じて

精神保健福祉部会で課題を整理

医療機関

からあがる地域課題

各地域部会

からあがる地域課題

連絡会

からあがる地域課題

地域保健連絡会の全体会報告から見た課題

✓ 8050家族への介入

- ✓ 母子支援 虐待などの背景のある家族へ介入が困難
- ✓ 複合課題のあるケース 枠を超えて互いに整理必要
- ✓ 災害対応 要支援者が情報を知らない
- ✓ 支援者同士のつながり

関係機関の顔を知らないと相談しにくい。

定期的な顔合わせの機会

✓ 地域住民への普及啓発

精神保健の理解がすすまない。理解が得られる機会づくり
専門機関の役割などの周知



まとめ

◆共通して課題としているケースの背景

- ✓ 多問題家族
- ✓ 母子ケース
- ✓ 高齢者と障害者の世帯
- ✓ ひきこもり
- ✓ 発達障害

◆連携が困難な時に共有している状況

- ✓ 誰の役割でもないが必要な支援をどうするか
(ひきこもり、家さがし、金銭管理…)
- ✓ 互いの関係機関の状況を知らない
- ✓ 互いの職域や役割を理解していない
- ✓ 顔がみえる連携がない
- ✓ 地域の理解

地域包括ケアシステム 医療と保健福祉 +α における 「つながり方」 「連携のあり方」

8050問題と言っても、何を問題と捉えるかは人それぞれある。8050問題での連携における課題について調査してみよう。



8050問題における連携について①

各保健センターからの声(北区中央・北区北・中区・東区・南区西・南区南)

介護保険と精神保健福祉領域との情報共有や意見のすり合わせが必要

⇒円滑な連携はそれぞれの支援方針や**各機関の役割や強みを知る**ことから!!

各地域部会からの声(中央北地域・東部地域・南西地域)

・課題が外在化していないと、家族で抱え込んでしまい、支援に入りづらいことが分かった。**介護保険と障害分野それぞれのマナーを理解**して、情報共有と役割分担が大切。

・支援の介入が遅れやすく、介入に時間がかかり、支援導入が難しい

⇒**アウトリーチ**が必要

・障害・医療や成年後見などの様々な支援が必要

⇒**職域を超えた連携力**が必要

・抱え込みによる困難事例がネットワークができると好事例に。

⇒介護分野双方が**お互いの立ち位置や役割を知る**事が必要。

8050問題における連携について②

第2回 医療と保健福祉との連携について検討する会

開催日：令和3年12月9日（オンライン研修）

参加：11機関・18名

内容：①精神保健福祉部会からの活動報告

②各医療機関の紹介「うちの病院の強み、知って欲しいこと」

③医療機関から見る8050問題における機関連携の好事例と課題

- ・暴力問題のあるケースにおいては、医療/介護/行政がお互いに**一歩踏み込んだ支援**や連携が必要。『一緒に自宅訪問する』『医療機関から積極的に動く、関わる』
- ・具体的なサービス利用に至らなくても、**気軽に相談**、情報共有できる機関同士の関係性が必要不可欠。相手がその気になった時に**直ぐに動ける状況**を作っておくことが重要。
- ・患者様とご家族の中にはサービスが入ることに抵抗がある人が多く、連携以前にサービスに繋がっていないことが多い。どのように介入していくかが課題。
- ・医療機関含め、一支援者で抱えないために、本人、高齢の親、各支援者が役割分担をしながら**チームで関わる**、お互いのやるべきことを全うすることが重要。
- ・入口はどこでも良い。**間口を広く**、介入できそうなところから介入していく。
- ・すぐに問題解決出来ることは多くないが、相談、**情報共有を継続**していくことが大切。

R3年度の活動を
踏まえ...

令和4年度予定している活動計画

(1)『8050問題』について地域包括支援センター職員へのインタビュー

～介護領域の立場から、精神保健医療との連携をどう感じ、思っているか聞いてみよう～

・・・地域包括支援センター職員の取組み実践、機関間連携でうまくいった連携を抽出。令和5年度以降の研修会で企画内容に反映予定。

(2)【第3回医療と保健福祉との連携について検討する会～医療機関編～】の開催

・・・医療機関からみた、保健福祉領域との連携に関する意見を集約し検討。

(3)各地域部会等との課題の共有

・・・抽出された内容により各地域部会や各専門部会、審議会への情報提供や協力依頼、活動連携を図る。

(4)地域精神保健福祉連絡会への情報交換、地域課題のフィードバック

・・・各地域精神保健福祉連絡会から挙げられた『8050問題』に関する活動をフィードバック。また、部会内で抽出した課題を共有、次年度の活動計画を検討の際に留意いただく。